

平成27年観光統計の分析について

1. 国内観光客

(1) 状況

- ① 平成27年の観光入込客数は、平成26年の約960万人と比較して約46万人(約4.8%)増加し、出雲大社「平成の大遷宮」で過去最高となった平成25年の約1,013万人に次ぐ数字となった。
- ② 平成27年の宿泊客数は、平成26年の約222万人、平成25年の約230万人と比較すると減少した。
- ③ 特に松江城登閣者数は、国宝効果により、約49万人を超え、現在の集計方法となった平成8年以降で最多を記録。国宝効果は、堀川遊覧船など周辺の観光施設にも波及した。
- ④ 宿泊者の発地別では、首都圏の割合が約23.9%と最も高く、次いで近畿の約16.7%、島根県を除く中国地方の約16.5%となっており、平成26年と同様の順番になっている。

宿泊に結びつく首都圏については、最も多い割合ではあるが、平成26年の約26.9%に比べ約3%、人数にして約6万人減少している。

中国やまなみ街道・瀬戸内しまなみ海道の開通効果を期待できる四国地方は、約3.3%と平成26年の約2.6%から増加している。また、島根県を除く中国地方も、約16.5%と平成26年の約14.4%から増加しており、広島を中心とした山陽方面からと推測している。

FDA名古屋便の開通により、交通利便性が向上した中部地方は、約7.9%と平成26年の約8.8%に比べ減少している。

観光入込客数・宿泊客数(1月～12月)

単位:人

	平成27年	平成26年		平成25年	
観光入込客数	10,061,918	9,601,695	(104.8%)	10,131,358	(99.3%)
宿泊客数	2,088,715	2,218,031	(94.2%)	2,303,428	(90.7%)

主な観光施設の観光入込客数(1月～12月)

単位:人

	平成27年	平成26年		平成25年	
松江城	494,189	376,825	(131.1%)	403,888	(122.4%)
堀川遊覧船	346,971	322,892	(107.5%)	353,654	(98.1%)

(2) 分析

- ① 観光入込客数については、平成27年前半は、出雲大社「平成の大遷宮」効果の薄れにより減少したが、昨年5月の松江城国宝決定以降は増加に転じ、特に7月の国宝化以降は、官民挙げて取り組んだ国宝松江城のプロモーション効果に加え、様々なテレビ番組に取り上げられるなど全国的な話題になったことや、中国やまなみ街道・瀬戸内しまなみ海道の開通効果とも相まって急増した。
- ② 宿泊客数については、平成27年前半は、出雲大社「平成の大遷宮」時に目立った団体客が減少したことにより伸び悩んだが、国宝松江城のプロモーション効果もあり、昨年10月以降、松江しんじ湖温泉や玉造温泉は増加に転じ、平成28年1月と2月においても継続している。

(3) 今後の展開

- ① 平成28年度は、宿泊客数の増加に向けた施策として、「国宝松江城」を中心とした観光プロモーションに取り組み、エリア的には、宿泊につながる首都圏やFDA名古屋便の2便化を見据えた中京圏、さらに、やまなみ街道・しまなみ海道の開通で宿泊客数が伸びている広島や四国方面に向けて、全国ネットのテレビ番組などのメディア対策と旅行会社へのアプローチを強化する予定である。
- ② 昨年全国的な話題となった「鷹の爪団のSHIROZEME」を今年も開催し、それをユニークな観光プロモーションとしても活用することで、国内外に情報発信していく。

2. 外国人観光客

(1) インバウンドの状況

- ① 昨年も台湾、韓国、フランスを重点市場に位置付け、圏域市長会、島根県、広島県などと連携し積極的にプロモーションを展開した。また、円安傾向の継続やビザの緩和、境港への大型クルーズ客船の寄港の増加、広島空港への新規国際定期便の就航、米子空港へのチャーター便の就航など様々な要因と相まって、本市を訪れる外国人観光客は大幅に増加し、入込数、宿泊客数とも過去最高を記録した。
- ② なお、最近の傾向として以前は団体旅行が主流となっていたが、国際観光案内所の訪問者数が対前年比23%増となっており、個人旅行者の割合も徐々に増加していると考えられる。

○平成27年 外国人観光客入込数(1~12月)

	韓国	中国	香港	台湾	米国	オーストラリア	フランス	イギリス	全体
H25	22,687	1,984	2,089	10,427	4,062	938	1,521	1,172	50,483
H26	17,510	4,060	423	11,404	4,077	2,044	1,638	1,816	51,085
H27	40,446	7,316	3,912	17,922	4,199	1,749	2,538	1,554	87,307
増減	22,936	3,256	3,489	6,518	122	▲295	900	▲262	36,222
伸率	131.0%	80.2%	824.8%	57.2%	3.0%	▲14.4%	54.9%	▲14.4%	70.9%

○平成27年 外国人宿泊者数(1~12月)

	韓国	中国	香港	台湾	米国	オーストラリア	フランス	イギリス	全体
H25	4,247	1,589	1,931	3,942	2,604	256	688	430	19,476
H26	2,987	1,648	2,049	7,240	3,127	445	760	264	22,728
H27	5,201	3,087	6,041	13,800	2,843	579	1,240	698	40,066
増減	2,214	1,439	3,992	6,560	▲284	134	480	434	17,338
伸率	74.1%	87.3%	194.8%	90.6%	▲9.1%	30.1%	63.2%	164.4%	76.3%

(2) 主な国(地域)別の状況

① 台湾

入込客数は前年比約57%の増、宿泊についても前年比約91%増で過去最高を記録した。要因としては、①広島-台北便の増便や、②台湾の旅行会社に対する継続したプロモーションを官民挙げて行ったこと、③平成27年度には新たな取り組みとして台湾で人気のパワーブロガーによるファンイベントの開催や、台北市の温泉地のイベントで温泉・縁結び・美肌など女性をターゲットとしたPRを行い、知名度を高めたことによるものと考えられる。

② 韓国

入込客数は前年比約131%増で過去最高を記録した。宿泊についても前年比約74%増となった。要因としては島根県、鳥取県と連携して、DBSフェリー、アジアナ航空を利用する旅行会社への継続的なプロモーションを実施したことが挙げられる。

③ フランス

入込客数は前年比約55%増、宿泊は約63%増と過去最高を記録した。要因としては、①平成27年度、特に広島県、島根県などと連携したメディアや旅行会社招請、旅行博への共同出展を行い、知名度アップと旅行会社へのアプローチを積極的に展開したことによるものと考えられる。

④ 香港

入込客数は前年比約825%増で、宿泊者数も約195%増と過去最高を記録した。要因としては H27年8月から広島空港に香港から定期便並びに秋季に米子香港チャーター便が就航ことによるもの。特に玉造温泉、武家屋敷が多くのツアーコースに組み入れられた。

(3) 今後の展開

今後は、広島-松江間高速バス料金の助成(外国人バス料金ワンコイン事業)や尾道市、今治市と3市合同で行う台湾での商談会、旅行会社招請事業を実施し、広島県からの誘客を促進するとともに山陽、四国を結ぶ南北軸の広域観光周遊ルートを確立し、松江そして中海圏域へ誘客を図っていく。